



東大阪の すいどう

水道の水はわたしたちの生活に1日も欠かすことができません。

東大阪市の水道は1932年（昭和7年）に誕生しました。約70年の間わたしたちが常に安全で安心して水道の水を使えるように、上下水道局は日夜「暮らしを支える水道」を見守ってきました。そしてこれからもわたしたちの生活に決して欠かすことのできない水道を見守り続けていきます。

そんな東大阪の水道をご紹介します。

くらしをささえる水



●水道局庁舎

水道ができたころ、水道を使った人は、およそ20,000人ぐらいでした。その後、^{しゅう}市域が^{たい}大きくなり、人口が増えるたびに、水道を使える^{ちゆう}地域を広げていき、今ではほとんどの所で、ほとんどの人(52万人ぐらい)が水道を使えるようになっています。

このためには、もちろん多くの水道施設を市内につくらなければなりません。

また、大地震などのもしもの災害の時に、水にこもらないような水道施設の^{けん}建設など、いろいろ^{たい}対策を行っています。



1日に送れる水の量

281,550 立方メートル

この水の量を、長さ25m、はば11m、深さ1mのプールにいれますと、およそ1,024のプールにいれることができます。



●菱屋西配水場



●池島配水池

道



●山手町特別高区配水池



●五条低区配水池



●石切低区浄水場

●配水管理センター(水走配水場)



- 配水場
- 浄水場
- 配水池
- 拠点給水所
- おもな配水管
- 緊急備蓄水槽



●上小阪配水池

水のたび

「水道の水はどこから

おおさか ふいすいどう しょり
大阪府営水道の処理

びわ湖



●石切低区取水場



原水

生物処理池

自然の川底で見られるような、微生物による水の浄化作用を浄水処理に取り入れたものです。アンモニア性窒素の低減に効果があります。

急速攪はん池

緩速攪はん池

傾斜板沈でん池

硫酸ばんど、という薬品を入れ、こまかいまざりものを沈めます。

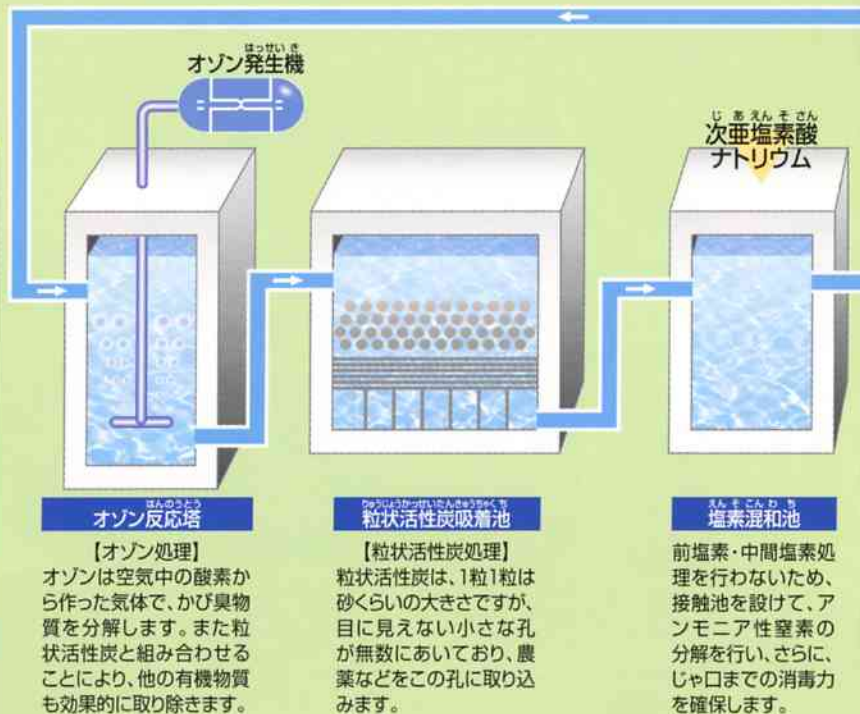
急速ろ過池

沈でん処理した水を、さらに砂の層でこします。

東大阪市の水道水の元(すいげん)としては、生駒トンネルからのわずかなわき水しかなく(全体の1%)、これだけではとてもたりません。そこで上下水道局では、水道水のほとんどを大阪府と大阪市の水道から買い入れています。

大阪府の水道では、淀川から取り入れた水を村野じょう水場へ送り、ここで安心して飲める水につくりかえています。じょう水場できれいにされた水は、東大阪市の水走配水場で受け入れ、ポンプの力で全市内に送りどけています。また、山間部では、高台の配水池にいったん送り、そこから山の落差を利用して水を送っています。

とくに、東大阪市の場合は、山の上(標高230m)の方まで住宅が広がっているため、山の上にも水道の施設を建設しています。さらに、水道の水がいつも、きめられた水質であるかどうかを測る機械(水質モニター)を市内16ヶ所において見張っています。また、市内にある水道施設がいつも正しく動いているか、配水管理センター監視制御室からコントロールしています。



オゾン発生機

オゾン反応塔

【オゾン処理】
オゾンは空気中の酸素から作った気体で、かび臭物質を分解します。また粒状活性炭と組み合わせることにより、他の有機物質も効果的に取り除きます。

粒状活性炭吸着池

【粒状活性炭処理】
粒状活性炭は、1粒1粒は砂くらい大きさですが、目に見えない小さな孔が無数にあいており、農業などをこの孔に取り込みます。

次亜塩素酸ナトリウム

塩素混和池

前塩素・中間塩素処理を行わないため、接触池を設けて、アンモニア性窒素の分解を行い、さらに、じゃ口までの消毒力を確保します。

くるのでしょようか」

ひがしおおさかし しより
東大阪市の処理



安心で安全な水道の

上下水道局では、みなさんに安心して水道の水を使っていたくために、水をつくる以外にも多くの方がいろんな仕事をしています。

水道は毎日の暮らしの中で欠かすことのできないものです。ですから、1日24時間、昼も夜も休みなく働きつづけています。

水道メーターの検針

使った水の量はメーターに記録されます。水道局では、このメーターをはかって、水道料金を支払っていただきます。



水質試験

じょう水場でつくられた水が、みなさんの家に送られるまでに汚れたりしていないか、毎日検査をしています。



水もれ調査 (漏水調査)

じょう水場でつくられた水が、みなさんの家庭につくまでのあいだでもれては、たいへんなムダとなります。このため、上下水道局では、夜も昼もなく水もれ調査を行っています。



水をつくるために

水道施設の建設

いつも水をつくるのに、ムダがなく効率的にできているか考えています。



窓口での仕事

市民のみなさんから、水道についてのお問い合わせやご相談などをお聞きして、水道をよりべんに使っていただくようにつとめています。

配水管工事

じょう水場でつくられた水が、家庭や学校、病院、商店、工場などに送りとどけるための太いパイプが必要です。これらのパイプも古くなると水もれの原因となるため、計画的に地震に強い新しいパイプと取りかえる工事を行っています。





ネグビーのまち
東大阪

東大阪市上下水道局

〒578-0944 東大阪市若江西新町1-6-6

☎06(6724)1221 ㊚06(6721)2374